

令和6年度 第1回放課後対策事業運営委員会会議録

1 開催日時及び場所

令和6年7月5日（金）午前10時～午前11時15分

射水市役所本庁舎3階 302会議室

2 出席者

【委員】

東委員、中野委員、網委員、松木委員、京角委員、吉田委員、山本委員
星野委員（1名欠席）

【事務局】

生涯学習・スポーツ課 石黒係長、法土主査、上田主任、吉田コーディネーター
中コーディネーター、折橋コーディネーター

学校教育課 川淵係長、稲田主査

3 会議概要

(1) 開会

(2) 委員長、副委員長の互選

(3) 議事

【説明事項】

放課後児童クラブの概要

放課後子ども教室・土曜学習推進事業の概要

コミュニティ・スクールについて

(4) 放課後対策事業に関する意見交換

(5) 閉会

4 放課後対策事業に関する意見交換

【委員】

・来年度、放生津小学校と新湊小学校が統合することに伴い、放課後児童クラブも統合予定。そのため、日々の子どもの受け入れと、統合へ向けた準備を同時に行う必要があり、今は手探りでなんとか頑張っている状況。

・放課後児童クラブに来ている子どもたちが、放課後子ども教室の様々なサークル活動に参加できることは、子どもたちにとって良いことだと思う。また、支援員としても助かっている。

【委員】

・小学校の授業終了時刻が早くなっており、放課後児童クラブの支援員は時間に追われている。放課後児童クラブに来る子は、親の仕事の都合で来ており、自分の意志で来ているわけではない。

子どもたちには楽しく過ごしてほしいと思っているが、安全安心のために限られた環境で管理する必要もあり、支援員として葛藤することがある。

・ある程度の管理のもとで、子どもたちが安全に安心して過ごすことができる放課後児童クラブも必要であるが、理想をいえば、子どもたちが自分の意志で気軽に遊ぶことができる第三の居場所があればと思う。

【委員】

・放課後の時間帯なので、疲れた様子で放課後子ども教室のサークルに参加する子もいる。それでも、サークルの1時間を楽しく過ごしてほしいので、どうすれば子ども達を惹きつけられるかということについていつも考えている。ただ、この活動をしていて、私自身が毎回楽しい1時間だなと感じている。

【委員】

・私は子どもたちからたくさんのエネルギーをもらっている。自宅が学校の近くなので、毎朝同じ時間帯に玄関に出ていると、登校中の子どもたちから声をかけてくれるようになった。そんな子どもたちと一緒に放課後子ども教室で活動できるのはとても嬉しい。放課後子ども教室で活動しているおかげで、たくさんの孫たちに囲まれている気持ちになった。これからも活動を頑張りたい。

【委員】

・私は、好きで茶道のことを学んできたが、小学生の子どもたちには、茶道のお点前や歴史を学ばせたいというよりも、物を丁寧に扱うことや、挨拶などの基本的なことを伝えられたらと思う。最近の子は自宅に和室がない子もいるので、和室に入るワクワク感や、お菓子を食べたりお茶を飲む時間を楽しむだけでもよいと思っている。ただ、放課後子ども教室の活動をしていて、見るからに今日疲れているなど感じる子もいる。あまり強制はしたくないが、どのように接すればよいのか考えることが増えてきた。

【事務局】

・疲れて集中力がなくなっている子にどう接するかについて、方法の一つとして、自分で決めさせるということが挙げられると思う。子どもたちには我慢をする力も身につけてほしいし、他の人に迷惑をかけるのもやめてほしい。そんな時、具体的に「あとどのくらい我慢できそう？」とか、「どのくらい休んだら、また活動できそう？」と子どもから言葉を引き出すと上手くいくことがある。こちらから何かを強制するのではなく、子どもたちに、自分で決めさせるという方法もやってみていただければと思う。

【委員】

・放課後子ども教室の茶道サークルなどは、子どもたちがなかなか家ではできない貴重な体験だと思う。そういった体験をさせていただけるだけでも、学校側としてありがたいと感じている。小学生なので、お菓子を楽しく食べるのが取っ掛かりでもよいと思う。まずはやってみて、子どもたちが「次は違うこともやってみたいな。」というように、子どもの興味を広げていくことも、この放課後子ども教室の果たす役割なのではないかと思う。

5 小学校からの意見・要望・感想

【委員】

・様々な子どもたちがいる中で、苦労や葛藤をされながらも、子どもたちを大変かわいがっていただいていることに対して感謝を申し上げます。放課後は、子どもたちが我を出しやすい時間だと思うので、その分大変だと思うが、ぜひ今後も充実した活動の継続をお願いしたい。

・放課後子ども教室と放課後児童クラブのどちらも体制がしっかりと出来上がっている。学校側の課題として、年度によってスタッフが変わるため、学校内での情報共有をしっかりと行いたい。

・コミュニティ・スクールについては、始まったばかりのため、手探り状態。現在、学校支援ボランティアの方に、家庭科の授業を手伝っていただいておりますが、大変助かっているが、課題もある。窓口となる学校支援コーディネーターの方のうち1人の方に負担がかかってしまっているため、今後はうまく業務を割り振りできるように考えていきたい。

【委員】

・子どもたちが楽しく活動できるように、たくさんの工夫をしていただいていることがわかり、改めて感謝を申し上げます。

・先日、子どもの怪我等の対応について、もっと詳細を事前に共有する必要があったと反省することがあった。一方で、気温が35度近くある非常に暑い日のサークル活動では、事前に学校と行政と教育活動推進員が連絡を取り合うことで、子どもたちがより安全に活動できるよう対策を講じることができた。やはり連携が大切だとつくづく感じている。今後も皆様と協力しながら子どもたちのために頑張りたい。

6 行政側からの意見・要望・感想

【委員】

・日頃から子どもたちに居場所や活動の機会を与えていただき、感謝を申し上げます。子どもたちを地域全体で支えていくために、必要な見直しを行いながら体制を整えて行きたい。また、コミュニティ・スクールについては、始まったばかりで手探り状態である。今回の意見交換の中で、「第三の居場所」という話があったが、今後、地域課題が出てきた際の方策の一つとして、生まれてくるのかもしれないというイメージを持った。今後も皆様と連携協力しながら子どもたちの健全育成のために取り組んで参りたい。

(午前10時00分開始、11時15分終了)